



2022年12期 第1四半期

決算説明資料

株式会社アイ・エス・ビー

証券コード：9702

2022年12月期1Q 連結損益計算書



企業のデジタル化へ向けたIT投資需要を受け、基幹システム刷新をはじめとしたシステム開発などの受注増により、前年同期比増収。
開発要員調達コストの上昇、部材費等の高騰による原価上昇の影響を受け、前年同期比減益。

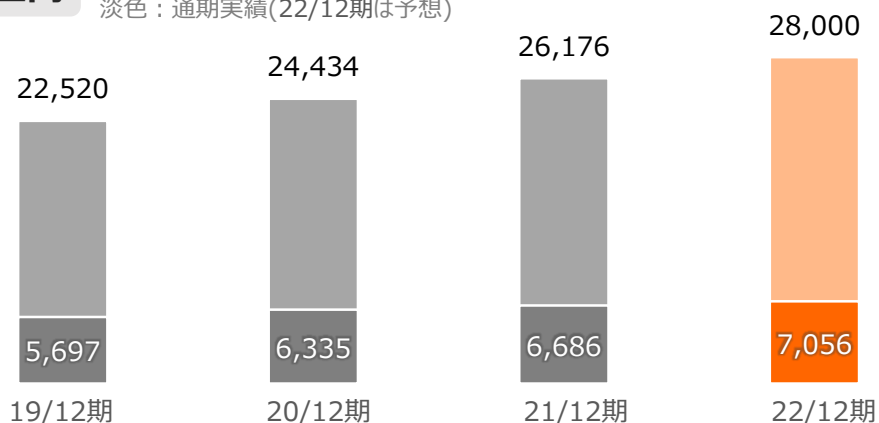
(単位：百万円、%)

	2021年1Q 実績	2022年1Q 実績	増減	前年同期比	2022年通期 予想
売上高	6,686	7,056	+370	+5.5%	28,000
営業利益	826	695	-131	-15.8%	2,070
営業利益率	12.4%	9.8%	-2.6pt	-	7.4%
経常利益	845	697	-148	-17.5%	2,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	532	445	-87	-16.5%	1,240

売上高

濃色：1Q実績

淡色：通期実績(22/12期は予想)



利益

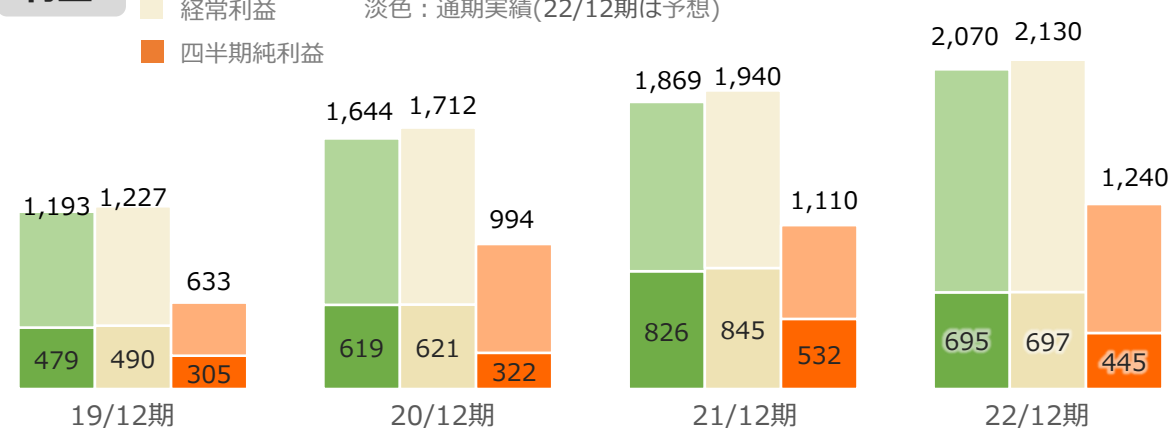
■ 営業利益

■ 経常利益

■ 四半期純利益

濃色：1Q実績

淡色：通期実績(22/12期は予想)



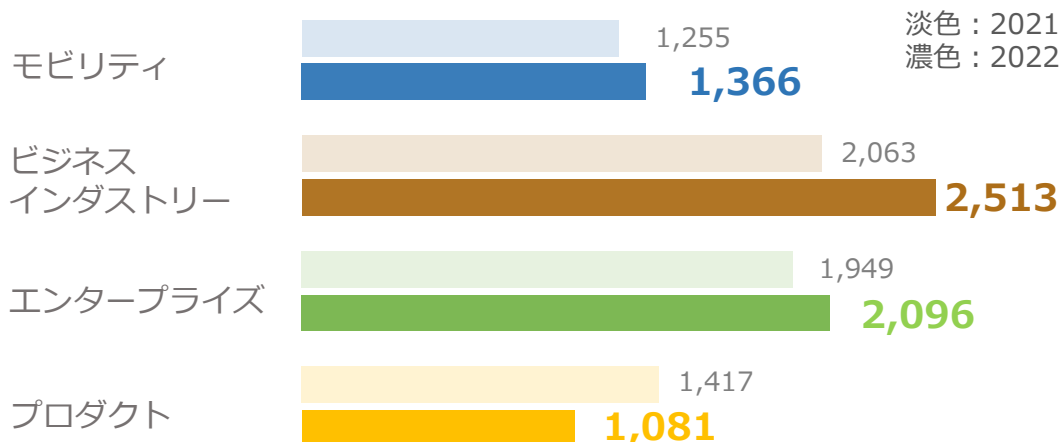
2022年12月期1Q 事業分野別売上高/構成比



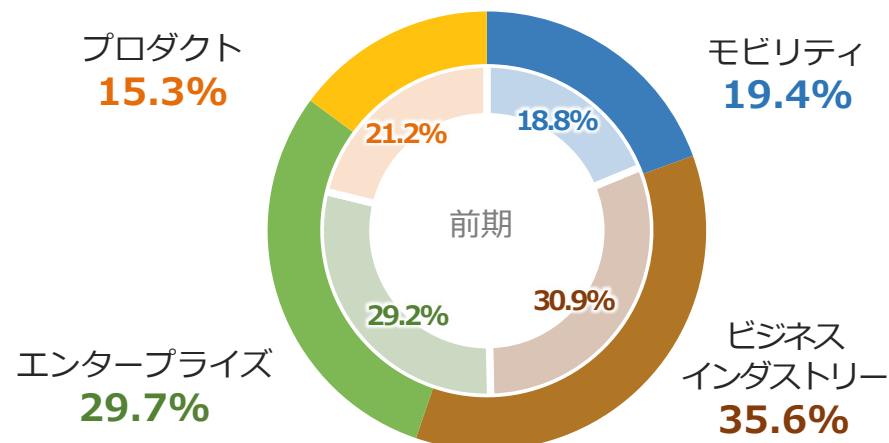
モビリティ	携帯端末やコンテンツ・アプリの開発、5G向け基地局に関わるシステム開発が堅調に推移。
ビジネスインダストリー	基幹システム刷新をはじめとしたシステム開発、通信機器等のデバイス関連の組込み開発が受注増加。
エンタープライズ	半導体調達不足からサーバ・ネットワーク構築業務が受注減少するものの証券系のシステム改修案件などが堅調に推移。
プロダクト	セキュリティシステム事業ではリカーリングビジネスが堅調に推移するものの半導体調達不足による機会損失が大きく影響し減収。

事業分野別売上高 前年同期比較

(単位：百万円)



事業分野別売上高 構成比前年同期比較



2022年12月期1Q 事業分野別売上高 進捗状況



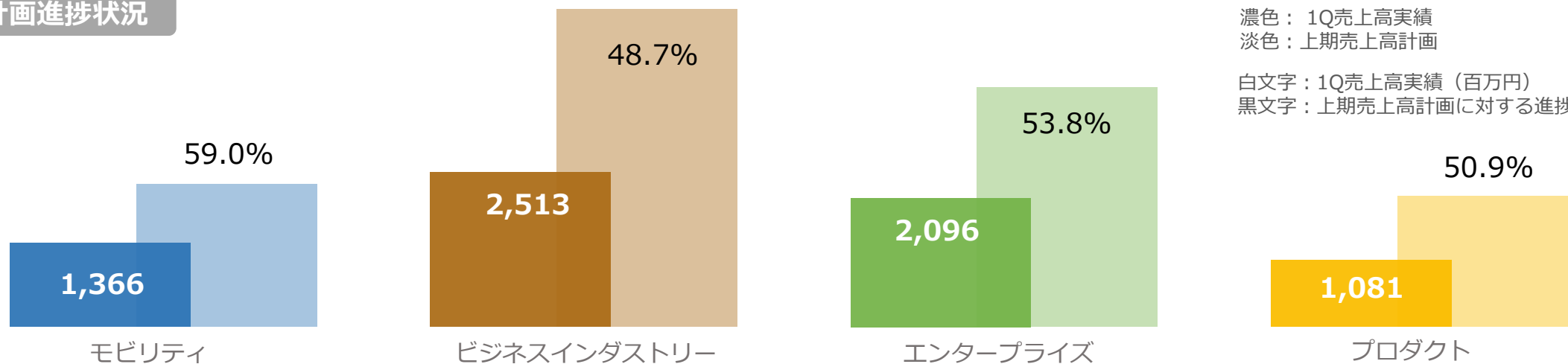
モビリティ	携帯端末やコンテンツ・アプリ開発、車載システム開発が堅調に推移する見通し。
ビジネスインダストリー	家電や映像機器向け組込みシステム開発は堅調に推移するものの、企業向けシステム開発の受注量が不足。継続案件確保と提案営業の強化で受注量確保を目指す。
エンタープライズ	サーバ・ネットワーク構築業務は半導体調達不足の影響を受け低調となるが証券系の主要顧客からの受注は堅調に推移する見通し。
プロダクト	半導体調達不足の影響を受け、入退室管理システム機器の製造遅延発生など厳しい状況が続く。影響少ない製品の販売に注力していく。

(単位：百万円)

上期計画進捗状況

濃色：1Q売上高実績
淡色：上期売上高計画

白文字：1Q売上高実績（百万円）
黒文字：上期売上高計画に対する進捗率





本資料は、2022年12月期第1四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2022年3月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。